

三反園知事就任

○7月28日(木)

鹿児島県知事に就任した三反園知事は、多くの県職員に出迎えられて初登庁しました。就任式では、職員に対し、常識にとらわれない発想でどんどんアイデアを出してほしい、とあいさつしました。



宮崎県を訪問

○8月4日(木)

宮崎県を訪問し、河野知事と会談。災害対応や南九州の観光面での連携強化について意見交換しました。日頃から、南九州の広域観光で連携している2県が、今後さらに国内外の観光客を呼び込む取り組みを進めるため、鹿児島、宮崎、熊本の3県で協力していくことを互いに確認しました。



鹿児島レブナイズが表敬訪問

○8月12日(金)

男子プロバスケットボールクラブ・鹿児島レブナイズの大山亮平代表らの表敬訪問を受けました。Bリーグ2部に参戦し、9月24日に開幕戦を迎えるとの報告に対し、「子どもたちに一流の試合を見せられるよう頑張してほしい。」と選手たちを激励しました。



熊本県を訪問

○8月2日(火)

熊本地震で多くの犠牲者が出た熊本県を訪問し、蒲島知事と会談しました。会談では、災害対応や観光面での連携について意見交換がなされました。また、地震で大きな被害のあった益城町にも足を伸ばし、避難された住民と、熊本県へ派遣されている鹿児島県職員を激励しました。



青少年「薩長同盟」フォーラム

○8月11日(木)

NPO法人日英友好協会が薩長同盟150周年を記念して開催したフォーラムに参加し、昨年英国へ派遣された鹿児島県代表の「現代版薩摩スチューデント」19名と萩市代表の「現代版長州ファイブ」5名の青少年に対し、「グローバル人材へ成長してほしい。」と、期待を込めて激励しました。



樟南高校野球部 壮行式

○8月1日(月)

夏の甲子園に出場する樟南ナインの壮行式に参加し、選手一人ひとりと握手を交わし激励しました。壮行式には生徒や教職員など、約900人が出席し、甲子園へ向けて出発するバスを見送りました。



かごしまこども環境大臣任命式

○8月5日(金)

「かごしまこども環境大臣」の任命式が行われ、三反園知事から子どもたちに直接任命証が授与されました。子どもたちは任命証を受け取った後、「鹿児島県のすばらしい環境を守っていくため、節電やゴミ拾いに取り組みます。」と、環境宣言を発表しました。



新しい鹿児島を創るために

- 1 「聞こう！語ろう！対話の県政」を目指し、車座対話を復活させ、全市町村をくまなく回り、皆様の声に対し、積極的に耳を傾けて参ります。
- 2 民間の経験を活かして、県の政策決定に営業・企画の観点を取り入れます。
- 3 上意下達の政策決定から、県民の声が活かされる、開かれた政策決定を目指します。
- 4 テレビ局勤務の経験を活かして、メディアや人脈を活用し、情報発信力を高め、鹿児島を今以上にPRし、トップセールスを積極的に展開します。



県民の皆様と一緒に、
チャレンジする鹿児島へ。

このたび、鹿児島県知事に就任いたしました三反園訓です。
今回の知事選挙で、県民の皆様方から多くの御支援をいただきましたこと心から感謝申し上げます。改めて、その責任の重さ、身の引き締まる思いであります。
県民の皆様方の負託に応えるべく、汗を流し、力を尽くし、「鹿児島に生まれてよかった」、「鹿児島に住んでよかった」と思える鹿児島を目指してまいります。
今、鹿児島には、閉塞感が漂っております。過疎化の進行や貧困の問題など、本県が厳しい状況に置かれていることは御承知のとおりです。その中で、観光、農林水産業、医療・福祉、教育、産業・雇用、防災の各分野において日本一を目指し、それぞれの諸課題に取り組む、力強い元気な鹿児島を取り戻していくことが重要です。
また、子育て支援、人材育成・教育に重点的に取り組み、女性の活躍できる社会づくり、高齢者福祉の向上、若者の雇用支援などにも力を注いでまいります。
本県には良いものがたくさんあり、それらをさらに売り込むことが必要です。そのために、今後、情報発信力を高めていくとともに、鹿児島を今以上にPRするトップセールスを国内外に積極的に展開してまいります。
私は、新しい鹿児島創りには「県民視点」が不可欠であると考えます。このため、「聞こう！語ろう！対話の県政」を目指し、全ての市町村をくまなく回り、県民の皆様の声に積極的に耳を傾ける車座対話を実施してまいります。
そして、「夢」、「希望」、「勇氣」、「創造」をキーワードとし、県民の皆様と一緒に、チャレンジする鹿児島を目指していきたいと思っております。
今後とも力強い御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひします。
県民の皆様、ともに新しい鹿児島を創りましょう。

PROFILE

三反園 訓(みたぞのさとし)

1958年、鹿児島県指宿市生まれ。
1980年、早稲田大学卒業、テレビ朝日へ入社。政治記者に。総理官邸、自民党、外務、防衛、大蔵各省庁のキャップを務め、1990年頃からは「ニュースステーション」の政治担当キャスターとして政治・政局動向の解説に当たる。また、この間、中曽根康弘総理から小泉純一郎総理までの歴代総理の主要国先進国会議など同行するなど、内閣・与野党要人との数多くの海外同行取材歴を持つ。

